

提言第10号 大腸内視鏡検査等の前処置に係る死亡事例の分析

事例10

< 事例概要 >

- ・ 80 歳代。普段から下剤を服用。
- ・ 右下腹部付近に腫瘍を疑い、精査目的で大腸内視鏡検査が予定され入院した。入院時の腹部X 線検査で鏡面像を認めた。
- ・ 検査前日にラキソベロン10 mL を服用したが反応便なし。検査当日にニフレック 2,000 mLを服用中に血圧低下、嘔気があった。反応便がなかったため高圧浣腸を実施し、 中等量の不消化便があった。上部消化管内視鏡検査を実施し、十二指腸に洗浄液の逆流を認めた。続いて大腸内視鏡検査を実施中に嘔吐、喘鳴が出現。誤嚥性肺炎を併発し、 翌日死亡した。
- ・ 死因は、誤嚥による気道閉塞の疑い。死亡時画像診断（Ai） 有、解剖無。